

講

師

紹

介

## 浅野目 祥子 (あさのめ さちこ) 講師

1998年より手と手事務局長として活動を始め、法人取得後は理事となる。  
1997年より10年間札幌市障がい者小規模作業所オーロラ作業所、あしの会、北の青空指導員を務め、様々な障がい者と関わる。  
現在は当団体の居宅支援センターという、児童デイサービスセンターこのは就労支援センターしずくの管理者として、従業員29名の雇用、経営を行っている。  
バリアフリー教室や社会福祉協議会、各企業や札幌市公園内などで福祉関連の講師、ガイドヘルパー講師、国土交通省バリアフリーリーダーとして活動しています。



## 釜野 郁子 (かまの いくこ) 講師



3歳の頃に神経芽細胞腫を発症した際の後遺症として両下肢全廃。車いす生活を余儀なくされる。小中高と養護学校に通う中で、自立や社会との繋がり大切さを知り高校時代にバンドを組み札幌のライブハウス等で活発に外発信をする。その後4年制大学に進学。卒業後は就職した経験や生活や道外での一人暮らしの経験を生かして2011年に手と手の障がい当事者講師となる。ヘルパーを利用せず、健全者に近い立場で話す講習が評価され学校や企業等の様々な場所で活躍する。また建築物や公園等のバリアフリー化に伴い、車椅子モニターとしても実績あり。その他、車椅子モデルとしても活動中。国土交通省の全国冊子の表紙掲載や、UHB放送「石井ちゃんとゆく」に多数出演。  
講師やモデルの反響により、2012年個人講師となり、現在も様々な依頼を受け続けている。

### ～北海道緊急雇用創出推進事業とは～

平成22年9月北海道からの『緊急雇用創出推進事業』の委託（平成23年6月～平成23年11月迄）により障がい当事者の講師派遣事業とそれに伴う介助者育成事業も加わりました

### 主な事業紹介内容

- ・障がい当事者としての立場で講師活動
- ・研修パンフレット、テキストの作成
- ・研修会、講習会の営業・企画・運営
- ・事業報告書の作成